

# 顕彰活動のひろがり

## ◎日比谷図書文化館で講演 ～番町とともに歩んだ塙保己一～

平成30年12月9日、東京千代田区の千代田区立日比谷図書文化館主催で「番町とともに歩んだ塙保己一」のセミナーが日比谷コンベンションホールで開催されました。

講演者は、温故学会の齊藤幸一理事長、総検校塙保己一先生遺徳顕彰会事業部会委員の荒井一夫氏、群読劇「塙保己一物語」の脚本を担当した根岸久氏の3名がそれぞれの立場で講演をされました。

塙保己一先生が和学講談所を設立した縁の地、千代田区での講演であり、都内からの参加者からは、わかりやすい講演であったと好評でした。当日は、本庄市から今井和也副市長を始め100名の応援団が参加して200席のホールが満席となりました。



## ◎群読劇が熊谷で上演

平成28年に児玉文化会館セルディで初演された「群読劇塙保己一物語」が、幸手市、上里町に続いて熊谷市でも上演されました。平成30年12月1日にNPO法人「エコネット熊谷」の創立10周年記念の記念式典で、埼玉の三偉人の一人である熊谷市出身の荻野吟子のエピソードを加えた熊谷版として、たくさんの方の協力により実現しました。埼玉県の上田知事が松平定信役で出演されました。



## 顕彰会への加入・継続をお願いいたします。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、平成19年7月26日に市民参加による顕彰会として発足いたしました。顕彰会では、塙先生の遺徳と事績を広く顕彰し、その精神の普及を図ります。毎年、命日の9月12日に塙先生の遺影に菊の花を捧げる顕彰祭を開催するほか、説明会など各種啓発事業を行っています。

みなさまのご加入・会員継続をお待ちしております。

年会費 個人会員 一口 千円、賛助会員(団体) 一口 一万円

入会と会費納入の受付場所 本庄市役所4階生涯学習課と本庄市児玉文化会館(セルディ)、アスパアこだま内の児玉公民館で受け付けています。

※ 郵便振替でもお申込みいただけます(ご希望の際には、下記へご連絡ください)。



### 発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館(セルディ)内

所在地 〒367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2

電話 0495-72-8851 FAX 0495-72-8854

※点訳ボランティアグループ「ほきの六点会」の皆様により会報誌の点字翻訳版を作成していただきました。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょうかい

## 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第34号

令和元年5月号

## 第12回 塙保己一賞表彰式

主催：埼玉県 共催：本庄市 埼玉県教育委員会



ごあいさつ

風かおる五月、新緑がまぶしいさわやかな季節になりました。会員のみなさまもご健勝のことと拝察いたします。

合併後の顕彰会の発足から今年で13年目を迎えます。昨年は、日比谷図書文化館においての講演会、広報普及部会長の根岸久さんの脚本を使用した本庄市外での群読劇の開催等、塙保己一についての取り組みが市内外で広く行われました。また、没後200年の記念事業である物語形式の小冊子の作成も順調に進んでおります。

4月1日に発表された新しい元号「令和」が5月からスタートいたしました。顕彰会では、新しい時代の幕開けとともに、新たな気持で各事業に取り組み、啓発にも努めてまいります。今後とも皆様からの更なるご支援とご協力をお願いいたします。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

会長 吉田 信解

# 令和元年度 顕彰会 総会を開催します

日時 5月25日(土)  
 ・午後1時30分 受付開始  
 ・午後2時 開式

会場 セルディ ホール

内容 前年度事業報告・決算報告・  
 今年度事業計画・予算審議

演題 「盲導犬の役割と盲導犬ユーザーの生活」

講師 公益財団法人日本盲導犬協会普及推進部  
 職員並びに盲導犬ユーザー  
 ※盲導犬訓練の実演も行います



平成30年度の総会の様子



盲導犬

※当日会場では、希望者に昭和24年10月発行の児玉温故会々報「遠峯(こだま)第1号」を配布します。

## ☆バスツアー開催 ～塙保己一先生江戸ゆかりの地をたずねる～(市民総合大学連携)

顕彰会の皆さんにお知らせいたします。

今年度は、会員の皆様に向けてバスツアーを実施します。塙保己一先生が15歳で江戸を目指して出立してからの足跡をたどります。

- ① 日時 9月24日(火)
- ② 対象 顕彰会会員のみ

- ③ 募集人員 20人(先着順)
- ④ 集合場所 セルディまたは本庄総合公園第一駐車場
- ⑤ 講師 公益社団法人温故学会 齊藤 幸一先生
- ⑥ 参加費 バス借り上げ料等実費(後日連絡)
- ⑦ 申込み 6月3日(月)から  
 電話か直接セルディへ(TEL0495-72-8851)



五月二十六日、児玉文化会館セルディを会場に平成三十年顕彰会総会を開催しました。当日は、会の運営についての審議、承認されました。総会后、盲目で現役の中学校教師をされている新井淑則氏による「心はいつもバリアフリー〜共生社会をめざして」と題した講演が行われました。



### 塙保己一賞

十二月十五日、セルディで行われた埼玉県主催・本庄市共催による塙保己一賞への協力を行いました。



当日は、障害がありながら社会的に顕著な活動をしている人や団体など3名が表彰されました。表彰式後には平成二十九年の塙保己一賞を受賞した澤村祐司氏他の皆様によるコンサートが開催されました。

## 平成三十年顕彰会事業報告

### 総会 顕彰祭

塙先生の命日である九月十二日にセルディで開催されました。遺徳顕彰祭では参加者全員が塙先生の遺影に菊の花を捧げ遺徳をしのびました。

### 国道462号線 高関地内の啓発看板の修繕が終了



本庄市が管理する塙保己一の啓発看板がきれいになりました。児玉のカインズホーム近くの国道254号線沿いの看板に続いて二か所目です。



理事長 齊藤幸一氏

## 塙保己一 ことども

(提供：公益社団法人 温故学会)

### 第四編 当道座(盲人一座)の階級制度と職務

保己一は十五歳の時、江戸四谷の雨富須賀一検校に入門しました。検校のもとに入門し、ここで盲人の職業である鍼・按摩、琵琶・三味線、金貸しの修業を積み将来の生活基盤を図るのです。師匠や兄弟子からの指導を受けますが保己一の性格に合わず、挫折をしてみます。

この組織には、四官・十六階・七十三刻という制度が置かれ検校に昇進するには七百十九両という大金が必要でした。保己一は、無官から始まり十八歳で衆分、三十歳で勾当、三十八歳で異例の速さをもって検校に進みます。さらに公儀から座中取締役に指名されると、座法の断行を行うなど優れた手腕を発揮します。

また、五十八歳で一座惣録職になると、本所一ツ目の惣録屋敷に居を移し、関東圏での訴訟裁判などの任にあたりました。

当時の江戸には二百五十名ほどの検校がいたと言われていますが、年功序列により保己一も昇進を重ね、そしてついに文政四年(一八二二)二月、七十五歳で総検校の地位にのぼります。京都の屋敷で任命を受け、五月に江戸に戻り、將軍徳川家斉の謁見を許されています。これにより、保己一は大名格となりました。身分制度の厳しい世において異例の出世を果たしたわけです。

総検校になると、本来は京都の職屋敷で職務に就きますが、保己一はそれ以降体調を崩し江戸に留まります。そして文政四年(一八二二)九月十二日、七十六歳の生涯を閉じました。

### セルディのイスがリニューアル 塙保己一にちなんだ色に



ロビーのソファを新しく張り替えるに当たり、アンケートを実施しました。利用者の皆様の投票により「すみれ」「ほおづき」「ゆず」の色になりました。